

大泉図書館だより

令和7年9月1日 第111号



大泉図書館キャラクター
おおちゃん いずみん

大泉図書館からのお知らせ

大人のための教養講座

実作で学ぶ俳句講座(全4回)

～句会を楽しもう～

- ◆開催日◆ 1回目：令和7年10月1日(水)
2回目：令和7年10月8日(水)
3回目：令和7年10月15日(水)
4回目：令和7年10月22日(水)

◆午後2時～午後4時(開場午後1時45分)

◆会場：大泉図書館2階 視聴覚室

◆対象：一般 ※全4回すべてに参加できる方。

◆定員：10名(事前申込制・抽選となります)

◆インターネットでの申込締切日：9月20日(土)

大泉図書館カウンターまたは電話にて9月2日(火)より受付します。

お問合せ・お申込み ☎03-3921-0991

◆講師プロフィール◆

西岡 翠 氏

1971年 山口青郵主宰「夏草」に入会。終刊まで。

1990年 有馬朗人主宰「天為」に入会。

2017年以降「白鷺句会」(世田谷区)主宰。

2021年 坂本官尾主宰「パピルス」に入会。

著作

句集『白き星座』(東京美術)

句文集『つれづれ帖Ⅰ、Ⅱ』(北溟社)その他

一言コラム

俳句に興味のある方を対象とした、全4回の講座です。講義を聴くだけでなく、初めての方も実際に俳句を作り、句会に参加します。

これを機会に、俳句とはどんなものかを体験してみてください。人生の新しい楽しみが見つかるかもしれません。

※抽選の結果、ご参加頂けない場合のみご連絡いたします。(カウンター・電話受付の場合)

※申込期間に定員に満たなかった場合は引き続きカウンターまたは電話で予約を受け付けます。

※当日体調不良の場合はご参加をお控えください。

※申し込みにあたり、お預かりした個人情報(図書館業務以外の用途)には使用しません。

8月の「浜中文庫を楽しむ会」で紹介された1冊

「A Swim~Frog and Toad are Friends

(「すいえい」~ふたりはともだち)」

By Arnold Lobel

これは、がまくんとかえるくんシリーズの「Frog and Toad are Friends」の中の4番目の短編です。がまくんとかえるくんが川へ泳ぎに行くのですが…。

がまくんは、水着を着て泳いでいますが、その水着姿が自分的にも微妙らしく、仲良しのかえるくんにも、見られたくないんですけど！それに、自分でもちょっと変だと思っている水着姿に、森の仲間たちが興味津々で集まってしまいました！がまくん、どう切り抜けたんでしょうね？

現在の会員数は10名程。毎月、大泉図書館の会議室を利用して活動しています。毎回、浜中文庫コーナーの中から作品を選び原文と翻訳、選定理由を発表していきながら作品を味わい深く知るところを目的とした会です。

浜中文庫は日本語に翻訳されていない絵本や、日本人絵本作家によって描かれ外国で翻訳出版された絵本なども所蔵しています。大泉図書館の初代館長故浜中董弘(ただひろ)氏は、開館に際し尽力されましたが、1982(昭和55)年2月1日の開館を見ることなく亡くなりました。浜中館長のご遺族が、当館の図書購入費として役立てて欲しいと寄付されたお金で購入した外国語の絵本のコーナー、それが『浜中文庫』です。



図書館員おすすめ!!



一般書

『うちのワンコが、ニャンコが、死んじゃったらどうしよう』
獣医師シワ男/著 KADOKAWA 請求記号645
犬猫を飼う経験が多い中、犬猫は共に生活していくと家族の一員です。そんな家族がもし病気になったら？獣医師の著者が治療・看病・介護・看取り・死後の章に分け、飼主、犬猫の気持ちを代弁し導いてくれる一冊です。
(M. W)

児童書

『ラクダで塩をはこぶ道 サハラ砂漠750キロの旅』
エリザベス・ズーノン/作 千葉茂樹/訳
あすなろ書房 請求記号EP1
灼熱の砂漠で採れた塩を運ぶラクダの隊列。砂漠の過酷な長旅や、物々交換の様子がダイナミックな絵とともに描かれています。マリ共和国の暮らしと伝統にふれられる、異文化の魅力あふれる一冊です。
(K. Y)

一般書

『ミルクの本』
ミルクマスター高砂/著 自由国民社 請求記号648
600種類以上の牛乳を飲んだ牛乳マニアの著者が、全国のご当地牛乳から喫茶店気分を味わえるミルクドリンクのレシピまで、その魅力を余すことなく紹介した一冊。牛乳の基礎を知ると、いつもの牛乳もよりおいしく感じられるかもしれません。
(H. W)

児童書

『身近な石をおもいっきり楽しむ図鑑』
柴山元彦/監修 ナツメ社 請求記号45.2
日頃、様々な場所で見かける石には、色や模様、形や手触りなど、それぞれに違いがあります。そんな石に関する情報をまとめて解説。基本を知る・探しに行く・集める・観察する…など、余すところなく石を楽しめます。
(I. Y)

ミニライブラリーニュース(8/26~9/21)より抜粋 **オリジナル版は1階男子・女子トイレにてご覧いただけます**

テーマ『ゆっくり休息』

『リトリート休養術 しつこい疲れがみるみるとれる!』
豊島大輝/著 すばる舎 請求記号498.35
リトリートとは簡単に言うと【日常を離れて自然の中でのびのび過ごす】ことです。専門の施設に行くことや日常の少しの時間で簡単にできるリトリートの方法が書かれた本書を参考にしながら、疲れ切ってしまう前に一度立ち止まって自分自身を大切にしましょう。

『眠れないあなたに おだやかな心をつくる処方箋』松浦弥太郎/著 小学館 請求記号159
現在、日本人の5人に1人が不眠症に悩んでいるといわれています。そんな悩みを持つ人たちに、実際に著者が不眠症になった時に試したこと、学んだこと、理解したことをまとめた、いわば処方箋のような本となっています。

テーマ『それぞれの9月1日』

『文豪たちの「九月一日」 関東大震災百年』石井正己/著 清水書院 請求記号イ
1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者10万5千人という大惨事となりました。当時を代表する作家たちはこの日をどのようにむかえ、過ごしてきたのか?新聞等の寄稿文等をもとに大震災をどのようにとらえていたのかがわかります。

『9月1日 母からのバトン』樹木希林・内田也哉子/著 ポプラ社 請求記号371.4
「死なないで、ね…どうか、生きてください…」これは女優樹木希林が無くなる2週間前の9月1日に言った言葉です。本書は母、樹木希林が残した言葉や軌跡を、娘、内田也哉子が著名人や不登校の当事者だった若者たちと対談の中で、ひも解いて行きます。自身も3人の子供たちの母である内田也哉子が母親の目線で、不登校や子育てについて語っている所に共感を持てます。

※ミニライブラリーニュース:大泉図書館の図書館員が決めたテーマに基づき、毎月2冊ずつ大泉所蔵の本を紹介しています。



9月の企画展示

展示期間 8月26日~9月21日

- 一般・特集「変身・変化(へんしん・へんげ)」**
変身・変化にまつわる妖しくも楽しい本を集めて展示します。
- 生活・くらしの特集「世界のアイデアいただきます」**
手芸や料理など、生活に関するさまざまなアイデアの本を集めて展示します。
- 地域展示「涼を求めて白子川へ」**
白子川に関する取材内容や写真を紹介するとともに関連する資料を展示します。
- 浜中文庫展示「Art(芸術)」**
芸術の秋ということで、目で見ても楽しめる絵本を浜中文庫の中から選んでご紹介します。

- 青少年・特集「怖い話」**
ホラー、サスペンスなど、背すじが凍る怖い本を展示します。
- 児童・特集「どうぶつがいっぱい!」**
いろいろな動物が出てくる本を集めて展示します。
- 視聴覚・特集「ドライブミュージック」**
ドライブにおすすめのCDを展示します。



※展示資料は、貸出しできますので、お気軽に手に取ってご覧ください。